

2020年度編入学入試【一般入試】問題

英語及び小論文

(生物資源科学部 農林生産学科)

注意

- 1 問題紙は指示があるまで開いてはいけない。
- 2 問題紙は5ページである。解答用紙4枚、下書用紙1枚である。指示があってから確認し、解答用紙・下書用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 答えはすべて解答用紙の所定のところに記入すること。
- 4 解答用紙、下書用紙は持ち帰ってはいけない。
- 5 試験終了後、問題紙は持ち帰ること。

英語

問題1. 2015年9月の国連サミットにおいて2016年から2030年までの国際目標として Sustainable Development Goals (SDGs)が定められた。そこで、このSDGsに関する下記の文章を読んで、(1)および(2)に解答しなさい。(※問題末尾の単語集も参照のこと)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(1) 全文を和訳しなさい。

(2) SDGsとして下記の17の目標 (Goal 1~17)が掲げられている。これら17の目標からあなたが志向するものを1つ選択し、その目標を達成するために日常の中でできること、将来取り組んでみたいこと、または実際に取り組んでいることについて、目標番号 (Goal 1~17) を解答欄に記載の上、日本語50字以上200字以内で答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

※ blueprint 青写真・設計・計画, inequality 不平等, degradation 劣化,
prosperity 繁栄, interconnect 相互に関連する, goal 目標, target 達成基準,
eradication 根絶, ensure 守る・保証する, prosperous 繁栄した・豊かな,
infrastructure 社会基盤, crucial 重要な,
marginalize 無用のものとして扱う・疎外する, combat 無くそうと努める,
desertification 砂漠化, revitalize 再び生気を与える・活性化する

出典 : United Nations. (n.d.). About the Sustainable Development Goals, Retrieved

問題 2 : 以下の文章を読んで (1) ~ (3) について答えなさい。

Hilly and mountainous areas have values such as abundant natural surroundings and excellent landscape, which are not present in flat land. (a) It is important to increase income by treating these resources in rural areas as "treasures" and launch projects for creative agricultural production.

Although the population in hilly and mountainous areas is a mere 10% of the total population, both cultivated land and agriculture output account for 40% of the total. (b) These areas play an important role as places for food production and in maintaining and using multifunctionality in agriculture and rural areas.

Hilly and mountainous areas have more slopes, are vulnerable to damage from wild animals, and have a faster aging rate compared to flat land. On the contrary, these areas possess resources such as clean water, a cool climate, etc. which are not present in flat land. There is a potential to operate farming with earning power using these resources.

出典 : 農林水産省 平成 28 年度食料・農業・農村白書の概要 (英語版) より抜粋・一部改変

※ launch project 事業に着手する, be vulnerable to damage 被害を受けやすい

- (1) 下線部(a)の英文を和訳しなさい。
- (2) 下線部(b)の英文を和訳しなさい。
- (3) 文章中に 3 つ挙げられている「flat land」と比べた「hilly and mountainous areas」の課題をそれぞれ日本語で答えなさい。

問題 3 : 以下の文章を読んで, (1) ~ (3) について答えなさい。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

出典 : 日本農業新聞英字版, The Japan Agri News (Nov. 13, 2017) より抜粋、一部改変

※ berries 果粒, shelf-life 日持ち, Shine Muscat シャインマスカット, variety 品種

- (1) シャインマスカット果実の食味に関する特徴について述べなさい。
- (2) ブドウの出荷に関して, 新たな技術により何が実現したかを述べなさい。
- (3) 長野県において2017年に果実が小さかった原因を述べなさい。

小論文

表は日本の米生産の概況を1985年以後について表したものです。この表から米生産の問題を読みとりなさい。そして、表のデータから生産者がどのような対応をしているのかを考察し、それをもとに今後の日本の米生産の展望についてあなたの考えを小論文解答用紙に述べなさい。

(横書きで 400字以上 800字以内)

下書き・計算・解析を行う場合は小論文下書用紙を使用しなさい。下書用紙は持ち帰らないでください。

表. 日本全国の水稲生産の概況

調査年	耕地面積 (田) ⁽¹⁾ (ha)	水稲作付面積 ⁽²⁾ (ha)	水稲収穫量 ⁽²⁾ (t)	水稲作付農家数 ⁽³⁾ (戸)
1985	2766000	2318000	11613000	2877277
1995	2579000	2106000	10724000	2300678
2005	2410000	1702000	9062000	1402318
2015	2310000	1505000	7986000	939954

表は農林水産省の以下の調査結果から抜粋作成した。

- (1) 作物統計調査 耕地及び作付面積統計
- (2) 作物統計調査 作況調査(水陸稲, 麦類, 豆類, かんしょ, 飼料作物, 工芸農作物)
- (3) 農林業センサス V 総農家等 18 作物の作物別収穫 (作付・栽培) 農家数と収穫 (作付・栽培) 面積